

なるほど!
ザ・ファンド

Q & A

Vol.204

Q.

資産運用における「単利」と「複利」の違いとは？

A.

複利運用は運用で得た収益を再投資することで、収益が収益を生んで資産が膨らんでいく効果が期待されるため、単利で運用するよりも高い利益が得られる可能性があります。

* 運用成果によっては、元本が減少することもあります。その場合には単利による運用成果が複利を上回ることもあります。

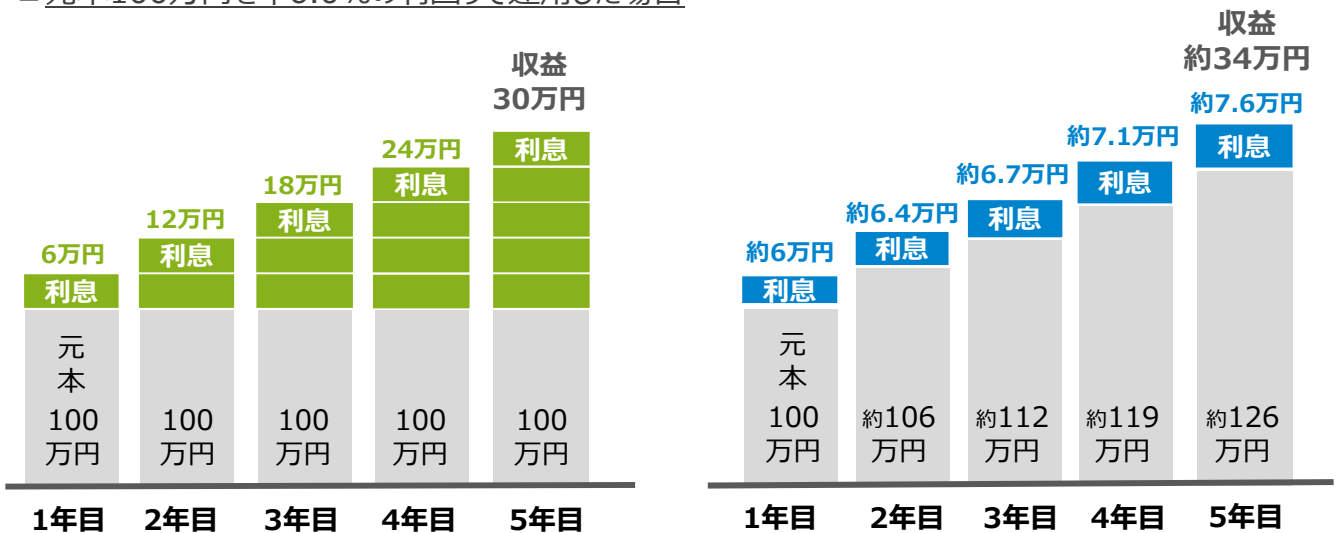
単利運用

資産運用で得た収益を元本に組み入れず、元本部分のみで運用することです。

複利運用

資産運用で得た収益を元本に組み入れて運用することです。増えた元本に対してさらに収益が得られるため、運用年数が長期になるほど運用益が膨らむ可能性があります。

■ 元本100万円を年6.0%の利回りで運用した場合



※上記はイメージ図です

マメ知識!

72の法則・複利で元本が2倍になるまでの期間がわかる法則です。

【72の法則】 $72 \div \text{利回り} (\%) = \text{元本が2倍になる期間 (年)}$

(例) $72 \div 6.0 (\%) = 12 \text{年}$

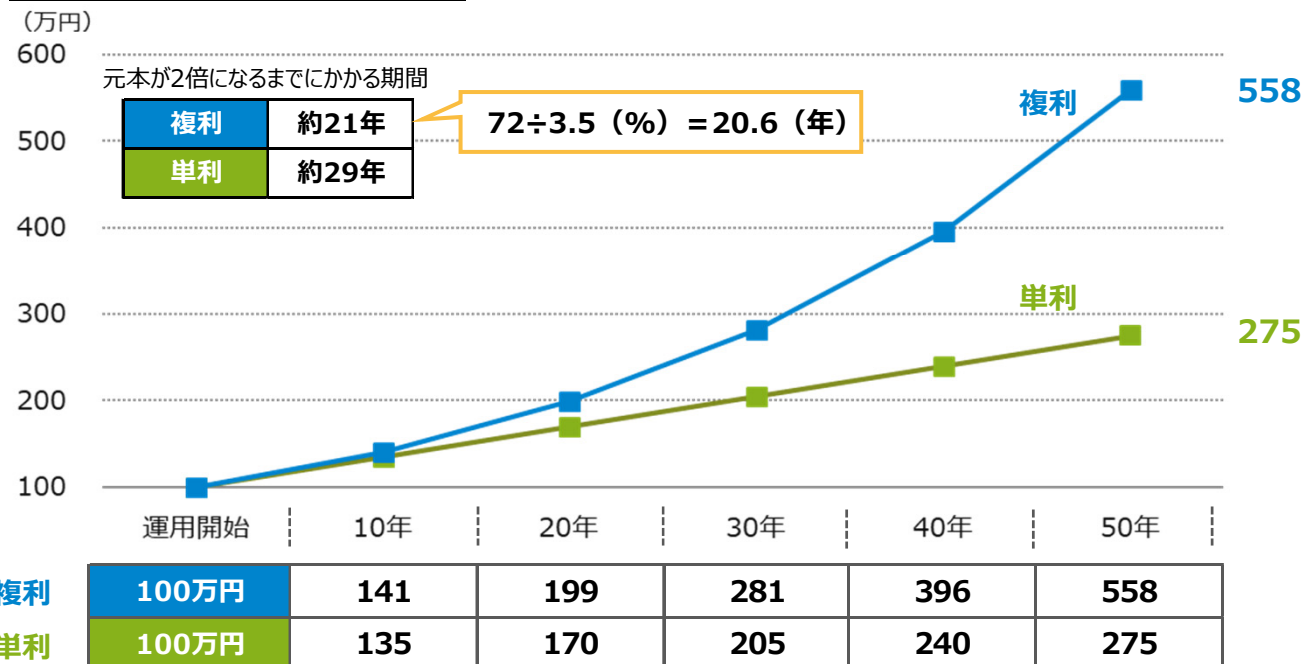
例えば100万円を年率6%で運用した場合、元本が2倍になるまでに必要な期間は $72 \div 6 (\%) = 12 \text{年}$ と計算することができます。

(注) 税金等の費用は考慮していません。複利の計算は1年複利計算です。

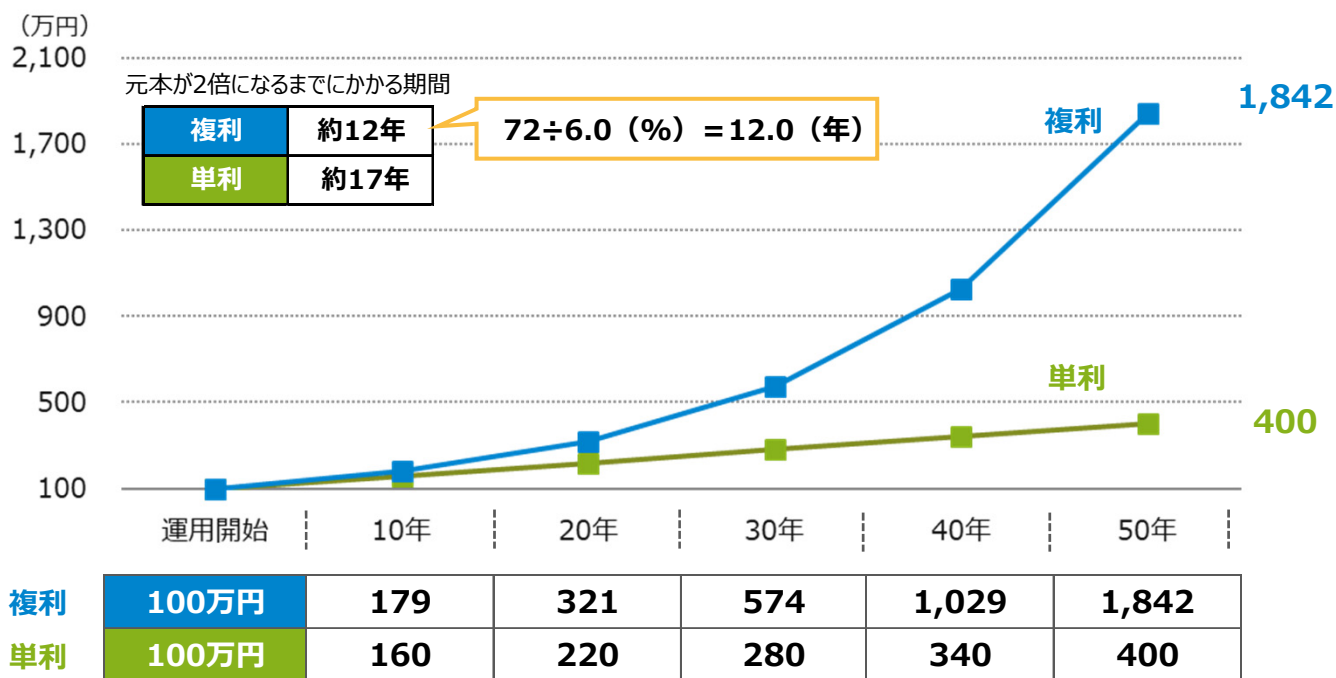
※この資料の最終ページに重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

単利と複利で運用した場合のシミュレーション

年3.5%の利回りで運用した場合



年6.0%の利回りで運用した場合



(注) 税金等の費用は考慮していません。複利の計算は1年複利計算です。

※上記は一定の前提条件に基づき試算したものであり、実際の投資成果ではありません。また、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【重要な注意事項】

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

＜ご留意いただきたい点＞

■この資料は具体的な商品をご説明するものではないため詳細を記載しておりませんが、元本保証のないリスク性商品のご購入やご売却、保有にあたっては、手数料等をご負担いただけます。■リスク性商品には、各種相場環境等の変動により、投資した資産の価値が投資元本を割り込む等のリスクがあります。■リスク性商品を中途解約する場合は、ご購入時の条件が適用されず不利益となる場合があります。■くわしくは、三井住友銀行店頭の商品の説明書等を必ずご覧ください。



三井住友銀行

株式会社三井住友銀行
登録金融機関 関東財務局長(登金)第54号
加入協会 / 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会